

研究課題名	地域包括ケア病棟における歩行自立基準の作成～Timed Up & Go Testを用いて～
研究代表者	中電病院リハビリテーション科 理学療法士 山本光毅
研究期間	2021年1月25日～2021年5月9日まで
対象者	当院の地域包括ケア病棟に入院かつリハビリテーションを実施している患者様で、リハ処方医より歩行が許可され、本研究に同意が得られた方
意義・目的	当院では、2014年12月に地域包括ケア病棟が開設され、さらに2020年5月には同病棟を増設しています。地域包括ケア病棟の施設基準のひとつに、「在宅復帰率7割以上」というのがありますが、そのうえで重要な要素として、「歩行自立」が挙げられると考えます。「歩行自立」に関する先行研究はいくつか存在しますが、地域包括ケア病棟を対象とした先行研究は見当たりません。また当院では、「歩行自立」の判断について、担当理学・作業療法士の主観的なものに委ねられており、統一された客観的指標がないのが現状です。さらに前述したとおり、地域包括ケア病棟の増設に伴い、より多様な患者層を対応することが増加していることから、「歩行自立」に関する客観的評価指標の検証は、臨床上有用であると思われれます。そこで、本研究では、Timed Up & Go Test(TUG)を用いて、当院の地域包括ケア病棟における歩行自立基準を作成することを目的とします。
患者様のデータ使用について	本研究内で得られたデータについては、統計処理を行った後、個人が特定されることのない形で、理学療法士の学術大会等で使用させていただくことを予定しています。
方法	当院の地域包括ケア病棟入棟後、可及的早期にTUGを行い、そのデータの集積から、歩行の自立基準値の作成を企図します。付随して、10-sec Chair Stand test for Frail Elderly(Frail CS-10)という身体機能評価も行い、TUGとの関連性等を分析する予定です。また、通常の診療業務で収集している、年齢や性別、疾患、Functional Independence Measure(FIM)等のデータとの関連性も分析を検討しています。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることはありません。研究に検査データを提供したくない場合は、2021年5月14日までにお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒730-8562 広島市中区大手町3-4-27 中電病院 リハビリテーション科 理学療法士 山本光毅(研究代表者) (082)241-8221(代表) E-mail T5414023@pnet.energia.co.jp(リハビリテーション科)